施策	72	自立	に向けた住民組織力の向上					政策 7 自立・連携した地域づく				域づくり
施策主管課		課	地域づくり・庶務課	課長名	寺澤 保義	内線	2110	政策	担当	i部長名 総務部長 /J		小池永利
施策関係課名		果名		·								
重点施	直策	0	関連計画									

1 施策の目的 対象 住民組織 目的 意図 地域で考え、地域で活動し役割を果たせる組織となる

2 現状把握 (1)対象指標、成果指標の状況

(1) A) A) 11/15. /AAA 11/15. /									
対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度		
① まちづくり委員会	団体	20	20	20	20	20	20		
2									
成果指標 ※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度		
①地域活動に参加している住民の割合	%	60.3	61.9	61.6	59.7		70.0		
② 自主的な地域づくりの参加人数(まちづくり 委員会主催による活動)	人	226,169	230,256	292,042	300,178		250,000		
3									

(2)成果向上に向けての役割分担

_	(-/	14/4/1/11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	117 () / (又 百) // 1旦					
		主体	役割分担	ムトス指標と把握方法 と単位	23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
	行政	市(国•県)	住民組織力を向上させる ための支援を行う	地域活動に参加している住民 の割合(%)				
	>				61.6	59.7		70
		主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項			
市民等	市民	住民組織	①住民主体で地域の課題を解決する ②地域おこしグループ、 ボランティア団体に働き かけを行う	自主的な地域活動の回数	な活動回 ・まちづく	り委員会記 くりの参加	①(H23 7,0 調べによる	52回) 自主的
	守	住民	住民が積極的に地域活動に参画する。	自主的な地域づくりの参加人数				

3. 平成24年度の評価結果

(1)実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)
□ 計画どおり取り組めた

- ■おおむね計画どおり
- □ あまり取り組めなかった
- □ 達成できなかった

- (2)施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)
 - □進んだ
 - ■ある程度進んだ
 - □あまり進まなかった
 - □進まなかった

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

・住民組織が地域で考え、地域で活動し役割を果たせる組織となるという意図で、地域活動への支援を行ってきた。まちづくり委員会による活動の参加人数は増加傾向にあるが、個人意識の傾向と差がある状況から、まちづくり委員会以外の活動も大切な視点である。

【事務事業群テーマ別の評価】

<まちづくり委員会活動>

・まちづくり委員会が取り組む、地域協働・共益的事業では、地域の特性を伸ばしたり、課題解決に向けた取り組みが進んできている。地域活動を効率的に行い、少ない経費負担・役員負担で成果を高めるために、地区間の情報共有と学習、研修の機会を設けた。

<まちづくり委員会以外の活動>

・地域自治会や町内会のコミュニティ活動を活性化させ、連帯感や絆を高めるために必要とされるコミュニティ設備や伝統事業継承の用具整備支援に取り組んだ。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

- ・まちづくり委員会等が取り組む公益性の高い事業について、飯田市としてその活動を保証するために、地域協議会の機能を 高める。市の政策や施策について、その橋渡しとなるような地域協議会のもと、まちづくり委員会が事業体として効果のある活動ができるような環境整備を進める。
- ・イベントや伝統芸能、交流拠点に様々な世帯や世代が集まってくる環境整備支援は大切な視点であることから、コミュニティ助成事業を通じて、企画、参加、協力することが楽しみとなるような機会づくりに繋げていく。